

高校生ICT Conference 2020

in
長野
オンライン

県内の高校生がICT活用のあり方について考えました

◇日時：2020年10月17日（土）14:00-16:00
◇会場：オンラインにて開催

今年度も「高校生ICTカンファレンス長野大会」が開催され、県内7校から26名の高校生がオンラインで集まりました。テーマに沿って事前に各学校で熟議してまとめた内容を学校ごとに発表し、参加者同士が質疑応答することで考えを深めました。また、明科高校が長野県代表として全国サミットに参加しました。

【テーマ】「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

《大会 概要》	
14:00～	開会挨拶 ほか
14:10～	プレゼンテーション① 「行動制限の中で、どのようにICT機器を使っているか」
14:50～	プレゼンテーション② 「新しい生活様式とICT活用法 ～行動制限の時代に生きる～」
15:50～	サミット代表選考、講評 ほか



[オンラインでの大会の様子]

参加校からの発表内容 概要 (発表順)

高校とオンライン予備校との差別化を明確にするため、「他者と交流することで人格を形成する」という高校教育の大切な意義を踏まえた交流活動をしたい。

<松本深志高校>

生徒会の連絡をLINEで行ったり、中学校とリモート会議で交流を図ったりしたい。ネットによる誹謗中傷にも注意していきたい。

<高遠高校>

「スマートマスク」※の開発とその活用を提案。マスクをつけるメリットを増やして、新しい生活様式の中でのICT活用を推進したい。

<松本工業高校>

ICT機器をもっと学習用に使う意識をもち、目的によって使い分けたり、使用時間を割り振ったりしたい。また、積極的に情報モラルを学びたい。

<松本美須ヶ丘高校>

授業中はスマホを活用し、休み時間はスマホなしで友だちとの会話などを楽しみたい。リアルな人間関係を構築するような機会を生徒会などで設けたい。

<松本県ヶ丘高校>

セキュリティー面を理解し、すべてをICT機器に頼るのではなく、対面のコミュニケーションも大切にしたい。ルールやモラルを確認した上で使用したい。

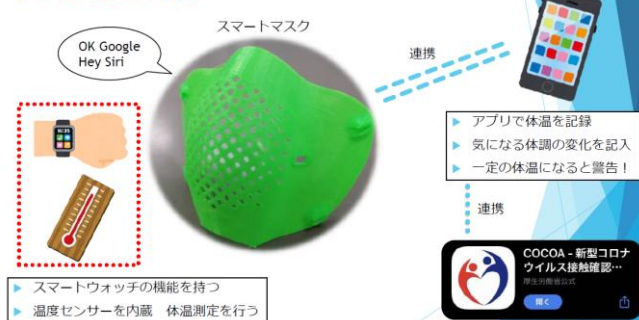
<北部高校>

ICTを活用して、高校生や先生の意識を調査し課題を共有する。「SNSからちょっと離れてみるday」を設けて、ICTとの関わりについて考えたい。

[全国サミット出場] <明科高校>

全国サミットでは「県外や国外の人とつながるためには機器の整備だけでは不十分。つながりを深める『コーディネーター』の存在が必要」と訴えました。

システムの内容



※マスクにスマートウォッチの機能を持たせることで、簡単にヘルスチェックと医療機関等との連携などができるといったもの

県内では、参加校を中心に、ICTの適正利用を生徒が主体的に考え推進する取組が広がっています。みなさんの学校でも、ICTの適正利用について自分たちにできることを考えてみましょう。